

議会だより

第138号

発行・中井町議会 編集・議会だより編集委員会 住所 〒259-0197 神奈川県足柄上郡中井町比奈窪56 電話 0465-81-3905 FAX 0465-81-1443



おもな内容

条例・規約・補正予算等	2P
行政報告・一般質問(9議員)	3P
議会のうごき	9P
県への要望・臨時議会(1~3回)	10P
反対・賛成討論	11P
審議結果・表彰者紹介・町民の声	12P

住民の安全を守る消防操法(出初式)

12月定例会 臨時会

Regular meeting in December
Temporary meeting

十二月定例会

平成十八年第四回中井町議会定例会を十二月六日開会し、会期を七日間とし、陳情の付託、行政報告、条例制定、条例の一部改正、規約の変更、一般会計他三会計の補正予算を原案どおり可決した。その後委員会報告を行い意見書を可決した。

また、委員会付託した規約の制定と、陳情一件を継続審査とした。一般質問は九名の議員が十二項目にわたって行った。

条例

◎中井町長期継続契約を締結することができる契約を定める条例

賃貸借契約及び日常的・継続的・反復的に役務の提供を受ける必要がある委託契約を、翌年度以降も継続できることとする。

主な質疑

問 不祥事がでた時は。

答 契約書に解約条項が入っている。

◎中井町環境基本条例

町の環境保全及び創造についての基本理念と施策の基本的事項を定めた。

主な質疑

問 公害防止など盛り込まれているか。

答 理念条例として制定。個別には今後精査。

問 町民の意見の反映は。

答 町民アンケート実施、懇話会立上げ、パブリックコメント想定。

問 規制の処置、指導、助言はどうか。

答 監視体制を整える。

問 この条例は隣接市町へ規制できるか。

答 規制は難しいが要望し議論していく。

◎中井町個人情報保護条例

の一部を改正する条例

個人情報記録の流出、町職員の職権乱用による個人情報取得等について、罰則をもって禁止する。

◎中井町税条例の一部を改正する条例

砂利採取税の賦課徴収期間を十九年六月から五年間延長。

◎中井町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

地方公務員災害補償制度との均衡を図る。

規約

◎神奈川県後期高齢者医療

広域連合規約

老人保健法の改正により都道府県単位で全ての市町村が加入する広域連合を設立する。(委員会付託)

主な質疑

問 広域連合議会議員数の基準は。

答 意志決定を迅速かつ円滑に行えること、公平・確に住民の意見を反映するため二十名に。

問 均等割十%は大都市と小規模町村で不公平では。

答 国のモデルも十%、共通経費が、二十五%はかかるため。

問 独自の減免規定は。

答 連合の中で作っていく予定。

◎神奈川県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更

合併による減少と、地方自治法改正による収入役制度等の見直しのため。

◎足柄上衛生組合規約の変更・足柄東部清掃組合規約の変更・足柄消防組合規約の変更

補正予算

一般会計の補正予算は二、五八五万三千円の追加で、平成十八年度一般会計予算総額は四十億九、九七八万九千円とした。

今回可決された補正予算の歳出の主なものは、次のとおりです。

総務費

庁用車運行業務委託料を二〇〇万円減額した。
グリーンテク内の迷惑駐車注意看板作成のため十八万九千円追加した。
町長選挙費を三五万七千円減額した。

問 看板で注意するのではなく町の土地を提供し、管理は企業連絡会に任せたらどうか。

答 企業で土地の確保をし

ていただきたい。軒先はできるのではないかと思う。

民生費

ゼロ歳措置児童の増と延長保育等のため、臨時職員賃金を四四〇万円追加した。
井ノ口保育園建設地の遺跡発掘調査業務委託料を四一九万円追加した。

問 遺跡の重要度は。

答 保存をするような遺跡ではない。

問 建設に支障が出るのか。

答 影響はないと聞いている。

教育費

プールの循環浄化装置の修繕料を四八万八千円追加した。

中村小学校の改修工事に執行残が生じたため工事請負費を四五〇万円減額した。
野菜切り機を購入のため学校給食費の備品購入費を一九一万七千円追加した。

行政報告

行政の取り組みとその成果の報告。

総務部

中井誕生百周年と、町制施行五十周年の記念事業のアイデア募集中。

あしがら里山アート展は多くの鑑賞者が訪れた。

中学生議会は熱心な討議が行われ、「いじめ撲滅緊急アピール」を全員で採択。

電子入札を、平成十九年実施に向け試行した。

民生部

神奈川県後期高齢者医療広域連合の規約に合意した。

中井町国民保護計画案を策定した。

経済建設部

美・緑なかいフェスティバルを開催した。

秋の里山めぐり収穫体験は、雨天のため後日収穫体験を行った。

農産物品評会を開催した。

主要幹線道路では、砂口南が丘線が、今

年度末に供用開始予定。境幹線拡幅整備も今年度中終了。

中井保育園線は完了した。

下水道事業では、宮原地区の枝線工事等順調に進捗。

上水道事業では、支障配水管布設替工事を中心に順次発注。五所宮導水管布設替工事等は年内発注予定。

教育委員会

中井小学校・中井中学校の体育館屋根、トイレ改修完了。

中井小学校体育館耐震補強も完了。

中井町読書の日に標語やポスターの表彰を行った。

町民体育祭を実施した。

町民文化祭を開催。同日、昔の食生活の道具展を開催。

自治会親善ソフトボール大会を実施、十五チームが参加した。

あなたの目と耳で

議場の雰囲気

今回の定例会は
3月6日からの予定です。

だれでも、お気軽にどうぞ！
役場庁舎3階議会傍聴席入口にて、
名簿帳に名前を記入するだけです。
出入は自由です。

一般質問

12月議会

質問者本人が
原稿を作成し
ています。

砂じん公害から住民を守れるか

武井 一夫 議員



問

大久保の向山地区と、遠藤の子ノ神地区一帯は、砂埃・騒音・振動などの発生により、中井町の内でも最も環境の悪い地域です。

原因は、山砂利の採掘場や、砂利プラント等に入出入りする車両のタイヤに付着した泥です。

雨が降れば、泥水が跳ね飛び、歩道を歩くことさえ困難な状態です。また、道路が乾けば、広範囲に渡り砂じんが舞い上がり、地域の人々は呼吸をすることさえはばかれる有様です。

この様な状態が四十年もの長きに渡り続いており、一向にこの公害問題が改善されておりません。

そこでお尋ねします。
①今まで取ってきた砂じん公害対策と、今後の取り



いっこうに良くならない住環境

町長 厳しく検査・指導

- ① その都度できる対策を実施し、「土砂流入防止壁の工事」、「タイヤ洗浄施設の整備」、「舗装打ち換え工事」等を実施してきました。
- ② 砂利税の課税根拠と税率アップについて。
- ③ (仮称) 中井町公害防止条例の策定について。

細みについて。
今後は、ダンプ車両の運行実態や周辺の環境調査等を多方面から検証し、一日も早く改善策を取りたい。

② 現行の税率で総務省と協議を進めており、税率アップは考えていない。
③ 公道から発生する砂じんへの健康被害等への防止に対する指導・規制が可能か、県と連携を図りながら調査研究を進めて行きます。

生活に密着した少子化対策

小清水招男 議員



町長 新規施策は検討

問 子育て中の家庭にとって、出産関連費用は個人負担が多めで、補完する為に、各自治体は各種奨励金制度を採用する傾向にあります。他方、第五次中井町総合計画では、目標年度に人口一万二千人を想定していません。少子化対策は、避けては通れない行政課題です。

町は次世代育成支援地域行動計画を策定され、「地域における子育ての支援」を掲げています。次世代の育成は地域での取り組みが第一と私も考え、以下の質問を致します。

①結婚の奨励は。
②出産奨励金や子育て支援の為に生活環境の整備は。

①結婚を奨励する制度等は制定しにくいですが、交流の場を設け、きっかけをつくるということが大事で、フェスティバルなど、若者が参加する雰囲気を作りたい。
②小児医療費の助成に続き、地域子育て支援センター、ファミリーサポートセンター等設置、一時保育事業等

の保育内容及び運営について検討する。
公営住宅法の低所得者用ではなく、子育て中のファミリー向け住宅建設は、議論をしてないので他自治体の情報を念頭に、これから進めていきたい。
子育て等、また、紙おむつの助成は考えていないわけではないが、財政に限度があるのでお許しください。

町長



町は、平成十九年度予算の編成方針を決定されましたが、政府は基本方針二〇〇六で示された今後五年間の新たな改革に向けた歳出抑制を図ることから、地方の財政運営はさらに厳しくなっていくことが予測されます。さらに、三位一体の改革により減収は避けて通れません。

このような時代背景の中でも、義務的経費の伸びや安全・安心で安定した潤いと活力のあるまちづくりが強く求められております。そのような中で、

①十九年度の予算規模は。
②十九年度の重点施策、及び井ノ口保育園建設にPFI方式の導入は。
③町長二期目のスタートの年度ですが、公約の予算化

平成十九年度予算は

加藤正人 議員

町長 四十二億程度

は。



建設予定の井ノ口保育園

今のところ見ておりますので、起債にて行う。PFI方式を採用するという考えは持っていない。

①景気回復に伴う大幅な増収は期待できない状況なので、公共施設建設基金の取り崩しと、起債の借入で、およそ四十二億円程度の予算規模を確保したい。
②五つの基本目標を柱に二十五本の重点事業を行う。井ノ口保育園建設事業は、財政的危機はないだろうと、

町長 ③環境と共生した安心・安全で活力のあるまちづくりを目指し、土地利用や公共施設整備、環境基本計画や中井誕生一〇〇周年に向けた研究・検討に取り組み。

＊PFIとは、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う新しい手法です。

認定こども園を成川保美議員



問

老朽化した井ノ口保育園を新設する必要性について、十四年の三月議会で一般質問をした経緯がありますが、あれから四年がたち、先日

「認定子ども園」と分けず、「認定子ども園」が、今後、時代に対応する施設となると思います。就学前の子供の育成、幼稚園の隣接との利便性と問題点、建設見積額等についてお尋ねします。

町長 協議を重ねる

平成二十年四月の開園に

は、保育の充実に努める一方、子育て支援センター設置など、地域の子育てを拡充し、少子化対策に対応していく。当面は交流保育を継続しながら、一体化あるいは認定子ども園について、関係機関とも協議を重ね検討していく。

工事費等の総額は三億五千万円程度の予定。



計画されている井ノ口保育園（イメージ）

今後の少子化や、子供の立場から考えると、「保育に欠ける子」「保育に欠け

教育といじめ対策は成川保美議員

問

いじめ事件は解決の兆しをみないどころか、教育関係者の考えられない不祥事が相次いでいる。

いじめによる自殺が多発し、尊い子供達の命が絶たれる事には胸が詰まります。

この問題は、学校のみによって防止できるものではなく、PTA活動を更に活

発にし、連携を密にとる事が大切であり、命の大切さをしっかりと子供達に教えること、そして我慢・忍耐・

善悪など、三六五日を通して子供達が社会に順応できる大人になるために、自ら

培い考えられる学、か場をあたえる事が学校であり家庭と地域だと思えます。

わが町におけるいじめの把握・対策は。

また、いじめを無くすと同時に、いじめに負けない、たくましく育つための改善策を考えることが大切です。

教育長 実態把握を

実態把握が先決であるこ

とからアンケート調査を行ない、結果を受けて、いじめ問題対策会議を招集し、

必ずいじめから守るメッセージを出すように要請した。

管理職は強い危機意識を持ち、子供や保護者に伝わ



るよういじめ対策に取り組む事を指示し、アンケート調査結果を保護者説明会で説明した。

PTA活動の重要性はまさにそのとおりです。

他人を思いやる心が醸成される事を願っています。

御提案の人の心を伝えていく事は大事、指摘の方法論も含め各学校に伝えたい。

市町村合併の選択は古宮一広議員



町長 踏み込んだ議論も

問 地方分権や少子高齢社会により市町村合併が進むなか、市町村合併推進審議会が設置され、知事へ合併案が答申された。

審議会経過での本町は行政圏域の小田原市を軸に二市八町合併構想と、経済生活圏の平塚市を軸に三市三町合併と両案が協議された。

他町の関係者から「中井は西の端か、東の玄関を選択するのか」と、町村合併の決断を促されている。

中井誕生百周年を迎えるこの時期にあつて、行財政の実態を住民に周知し、住民の意向を的確に把握し、市町村合併の判断をする時期ではないか。

県は審議会を設置し協議、この程県知事に答申された。答申案では市町村の権能を含め中核市規模である三十万人以上の人口規模と、本県を六の圏域に区分し、本町は県西地区の行政圏と秦野・二宮を含む経済生活圏域にも位置づけされた。

従来は広域行政の枠を越えた規模、サービス提供の仕組みや効果を検証している。合併は二市八町首長会議でも協議するが、町民の経済生活圏は秦野・二宮であり、すでに行政連絡会等を通し文化交流や研修活動を実施している。

今後は具体的な議論や研究を進め、必要に応じ町民の方への情報提供を行い、時宜を見ながら意見の集約も検討する。



行政圏か？ 生活圏か？ 自立か？



まちづくりは道路整備から 杉山祐一議員

問

町民が安全で安心して暮らし続けていくためには、医療・福祉、教育環境の充実が当然のことながら、軌道のない本町にとって広域幹線道路の整備や、生活関連道路整備は必要不可欠であると思います。

- そこで、道路整備計画及び道路行政について。
- ①グリーンテク内の砂口、境方面への交差点における右折車線の確保は。
 - ②松田署に要望した信号機の設置はどのようになっていくか。
 - ③久所・五分一岡を企業、町民の利便性のために大型車通行可能道路にしては。
 - ④古怒田からいこいの村まで延長、拡幅工事をしては。
- 以上についてお伺いします。

町長 総合計画の推進

道路交通網の整備方針等は、第五次中井町総合計画の中に道路交通体系の整備として位置づけしております。

財政基盤の安定と、活力と魅力にあふれたまちづくりを構築していくには、道路網の整備充実は大変重要かつ基本であり、厳しい財政状況の中、道路やその地域の特色を生かし、一体的に整備するまちづくり交付金などの活用も視野にいれ、利用する人たちにとって利便性の高い道路整備を進めていきたいと考えています。

- ①砂口南が丘線完成後、再度交通量の調査をして速やかな判断をする。境幹線は開通に向け拡幅で検討する。
- ②正式な結果が出ていない。
- ③拡幅を含め早急に検討。
- ④町単独事業では厳しく、大井柏和構想を含め確認。



大型車通行禁止の五分一幹線

急傾斜地崩壊防止対策は 加藤義英議員



ない、人家一戸から四戸地区の急傾斜地崩壊防止対策を町はどの様にお考えか。

問

東海地震、県西部地震の切迫性が指摘されていることから、町民の安全・安心への関心が高まっている。

大地震が発生し、大雨が続いたとき急傾斜地を抱えた関係住民は心配している事から、最小限の被害で食い止める事が最重要課題である。

町の財政問題もあるが、利便性の道路整備と、生命財産を守る整備とどちらが優先するかを考え、町民生活の安全確保に向けた行政の取り組みが最も大切であり、災害に強い安全・安心なまちづくりが求められております。

①急傾斜地崩壊防止対策事業の今後の申請計画は。国・県の状況は。

②国や県の申請条件に入ら

町長 引き続き要望

①今後の事業については比奈窪地区のみを採択申請とさせていただき、次年度は県単独事業の中ノ窪地区と、中学校西側の比奈窪地区の

事業推進を図って行く。

②一戸から四戸の急傾斜地については、促進と採択用の緩和を国・県へ毎年施策要望しているが厳しい財政状況から、実現化に至っていない。

町も厳しい財政状況だが、地域住民の安全な暮らしの確保のために、引き続き要望活動を行っていく。



進められる崩壊防止対策

選挙公約の実現は 植木清八議員



問

①人口増加対策に区画整理地内の未利用地を、当初の目的の通り、所有者に積極的な土地利用をどのように働きかけるか。

②新たな税源の確保と地域産業の振興に、南部開発事業の推進また東名インター周辺の開発について、新しい展開または具体的な話があるのか。

③人的交流、ゴミ処理、斎場などの生活圏を重視し秦野市、二宮町との広域行政の枠を広げては。

町民合意による市町村合併は、町民の不安を消すのに、早い時期に行動を起こし、町民の意思の確認を、いつどのような方法で行うのか。

二期目の公約はレベルが高いが、どうクリアするか。



開発が待たれるインター周辺

町長 実現に努力する

①区画整理事業が完了し、いまだ多くの未利用地があり、議会からの提言内容を真摯に受け止め目的に沿った土地利用が図れるよう努力する。

②南部開発は住宅供給公社で検討されているが、オーダーメイド方式による整備手法なども積極的に協議を

重ねていきたい。

東名インター周辺は、立地条件もよく将来の財政に重要な地域、すでに事業候補地としての照会があり、最大限に土地利用を図る。

③秦野市や二宮町との関係を一歩踏み込んだ形にし、連携を深め、首長間で合併問題もふまえて検討する意思統一ができています。

町民と合併を議題に懇談会で議論し、意見を聞く。

町民の生活を支える政策は 小沢長男議員



問

雇用規制を緩めて大企業の収益力を強める「構造改革」は、派遣・契約・偽装請負を蔓延させ、低賃金で劣悪な雇用を急激に広げて家計を痛めつけ、大企業が過去最高の利益を上げ、所得を吸い上げてきたため家計の所得が低迷しています。それでもさらに大企業減税で消費税を増税しようとしています。

収入が一円も増えないのに、自民・公明党を与党とする政府の住民税増税により、介護保険料が三年間で七万円も増える人もいます。滞納者がさらに増える心配があるが、減免や減額は。今後、少子・高齢化のなかで税金を納める現役世代の減少により、財政は厳しくなりますが、三位一体の

町長 減免はしていない

介護保険料は、四月の介

改革でさらに地方・住民負担を国は求めてきます。この状況の中で、生涯学習会館や体育館等の公共施設整備について、議会は特別委員会を設置しましたが、増税攻勢、医療負担、いろいろの負担増のなかで、町民の生活を優先すべきと思うが、町はどう考えるか。

一万の町民が、健康増進や文化活動に有効利用できる施設のあり方を十分調査検討し、多目的な機能を備えた施設整備を進めていく。



老後の安心を

いじめ根絶のために 小沢長男議員

問

競争教育がストレスの原因とされ、いじめの背景と指摘されていて、国連・子どもの権利に関する委員会では、日本政府に対して、「子どもが高度に競争的な教育制度のストレスによって、発達障害にさらされている」と懸念を表明し、適切な措置をとることを勧告している。これに反して、

全国一斉学力テストをやり、子どもと学校に順位をつけ、学校選択制を全国に拡大する教育基本法ならば、さらに競争が強められ、ますますストレスは激しくなり、いじめや学校の荒廃が深刻になると思いませんか。当然、いじめ・自殺はあってはならないが「いじめゼロが良い学校だとすると、よい学校と見てもらいたいため、いじめを隠し、教育委員会に報告しない現象が起ころ」と伊吹文科相は発言している。



いじめ撲滅を宣言した中学生議会

町長

改革が求められる

学力テストの結果で学校のランクづけがされることにより、「おまえがいると成績が下がる、テストの日は学校を休め」と同級生に言われたとする報告もある。ランク付けの能力・競争主義の改悪教育基本法ではさらに荒廃を招くのでは。

子どもたちのモラルや学習意欲の低下、家庭や地域の教育力の低下などが心の貧しさや指摘され、ニート問題も深刻になっている。このような背景から、教育

の改革が求められている。学力テストは学力水準の調査・検証のためです。

バス路線の充実 小沢長男議員

問

第五次総合計画作成のアンケート、地域意見などには、交通の不便の解消を求める意見が多く出されています。

私は、以前から議会でバス路線の充実を求めてきたが、「第四次総合計画後期計画のアンケートでも、バス路線の充実の要望が高く、

きめ細かい対応をしてゆく。地域的な要件やバス路線のない地区等への移送サービスは、巡回バスやワゴン車の運行を含めて、将来の検討課題としていく」との答弁でしたが検討の結果は、病院等に行くのに、町内

百円、町外三百円ぐらいで町民誰もが乗れる町民タクシーなども考えられないか。上病院、松田方面に行くのに非常に不便だが、松田までの相互乗り入れは。

藤沢の日立路線が廃止されると聞くが対策は。

町長 町独自の方策を

バス路線の充実は、町民の足として、また高齢者の生活交通手段の確保として、重要な課題となっている。関係会社とも利便性の向上に向けた検討や要請もしているが、前進した対策が見出せない。町独自の新たな方策を検討しなければと

考えている。共同研究組織を小田原市と共同で設置し、バス路線の拡充の検討もあるが、町民タクシーなども含めて検討していく。

松田方面のバス乗り入れは、当分現状運行を維持。藤沢路線は、利用者に迷惑をかけない体制をつくる。



確保が求められる町民の足

十一月

- 1日 議会たより編集委員会
- 3日 中井町読書の日集い
- 5日 中井町自治会親善ソフトボール大会

- 10日 中井町短歌・俳句大会表彰式
- 12日 足柄上地区1市5町議会議員スポーツ大会
- 15日 なかい里山俳句大会

- 17日 議員PFI研修会
- 18日 公共施設整備に関する特別委員会
- 21日 足柄上地区子どもパークゴルフ大会

- 24日 西丹沢もみじ祭り
- 26日 二宮町長選当選祝賀会
- 27日 足柄上郡町議会議長各常任委員会委員長等研修会
- 28日 総務常任委員会協議会
- 29日 農産物品評会褒章授与式
- 29日 あしがらブロック会議
- 30日 足柄上郡町議会議長会定例議長会

- 1日 足柄東部清掃組合議会
- 2日 議会運営委員会
- 3日 平成18年第2回中井町議会臨時会
- 4日 議会全員協議会
- 5日 議会運営委員会

議会のおうぎき

十二月

- 29日 神奈川県地方自治功勞者表彰
- 30日 足柄消防組合議会

- 6日 平成18年第4回中井町議会定例会1日目
- 7日 平成18年第4回中井町議会定例会2日目
- 8日 経済建設常任委員会
- 12日 文教民生常任委員会
- 15日 議会運営委員会
- 19日 平成18年第4回中井町議会定例会3日目
- 22日 議会全員協議会
- 25日 表彰審査委員会
- 27日 県へ意見書提出
- 28日 足柄上郡町議会議長会
- 30日 足柄上地区一周駅伝競走大会

一月

- 21日 足柄上地区一周駅伝競走大会
- 22日 足柄上地区一周駅伝競走大会結団式
- 23日 文教民生常任委員会
- 24日 年未特別警戒激励
- 25日 議会運営委員会
- 26日 平成18年第3回中井町議会臨時会

- 3日 足柄上地区一周駅伝競走大会
- 4日 役員仕事始め式
- 7日 賀詞交歓会及び自治功勞者表彰式
- 8日 成人のつどい

- 8日 松田警察署武道始め式
- 9日 地域安全新春のつどい
- 10日 体育協会新年会
- 11日 県町村議会議長会
- 12日 議長・副議長・事務局長合同研修会
- 13日 建築組合太子講
- 14日 中井誕生100周年記念事業実行委員会
- 15日 公共施設整備に関する特別委員会
- 16日 あしがらブロック会議
- 17日 足柄上郡町議会議長会定例議長会
- 18日 足柄上衛生組合出納検査
- 19日 全員協議会
- 20日 消防団役員新年会
- 21日 県西地域広域市町村圏協議会防災講演会
- 22日 秀峰会新年会
- 23日 議会たより編集委員会

県への要望

二級河川藤沢川の早期改修を求める意見書

近年地球温暖化の影響による集中豪雨が毎年各地で発生し、全国的にも大きな被害が発生しております。中井町藤沢地区におきましては、藤沢川で台風や豪雨の時に未改修区間の護岸崩落事故がたびたび起きており、住民は不安な日々を送っております。

藤沢川の改修については、下流の中村川合流地点から寺ノ下橋までの1, 140 mあまりの区間はすでに完成しており、この度、危険箇所として上流部のトンネル部分の開削工事は計画されておりますが、残りの区間の改修時期は未定とのことです。

トンネル部分から下流の天王橋までの区間は、大雨発生時に災害発生の危険性を特に感じるため、引き続き、早急に整備し、藤沢地区住民の生命・財産を守っていただき、安全で安心して暮らせるように特段の配慮を求めます。

さらに、寺ノ下橋から上流は県道平塚松田線にかかる藤沢橋までの未改修区間を継続して整備していただきたい。

なお、改修にあたっては、里山の原風景を残し、地域の人たちが水に親しみ、魚が住めるような河川整備を求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成18年12月12日

神奈川県知事 松沢 成文 殿

神奈川県足柄上郡中井町議会

第一回臨時議会

平成十八年第一回中井町議会臨時会を十月三十日に開会し、工事請負契約の締結を原案のとおり可決した。

工事請負契約

契約の目的
町道境幹線道路改良工事
契約の方法
指名競争入札による契約
契約金額
五、〇四〇万円
契約の相手方
中井町井ノ口二四四番地の一 株式会社富士建設
工事内容
工事延長 一七五・九m

主な質疑

問 予定価格と契約金額が同じだが。

答 設計金額の事前の公表を行っているため、偶然同じになる可能性がある。

第二回臨時議会

平成十八年第二回中井町議会臨時会を十一月二十八日に開会し、条例制定一件、

条例改正一件、補正予算五會計を原案のとおり可決した。

条例制定

中井町長の期末手当の特例に関する条例
平成十八年十二月から平成二十二年六月まで二十パーセント減額する。

条例改正

中井町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

補正予算

扶養手当における子ども手当額の改正
一般會計
給料表の見直し及び人事異動等に伴う減額及び特別職の期末手当等一、九七二万四千円減額。

国民健康保険特別会計

人事異動等に伴い、給料及び職員手当等五十万四千円減額。

介護保険特別会計

人事異動等に伴い、給料

及び職員手当等九十七万円減額。

下水道事業特別会計

人事異動等に伴い、給料及び職員手当等二十八万六千円減額。

水道事業會計

人事異動等に伴い、給料及び職員手当等二十三万三千円減額。

第三回臨時議会

平成十八年第三回中井町議会臨時会を十二月二十七日に開会し、規約を原案のとおり可決した。

神奈川県後期高齢者医療広域連合規約

後期高齢者医療の事務を行う広域連合を、県を一つの圏域として作ることが法制化され、設立のための規約を制定した。

第三回臨時議会 神奈川県後期高齢者医療広域連合規約の討論

反対討論

小沢長男 議員

後期高齢者医療制度は、七十五歳以上の高齢者を後期高齢者として、現在加入している国民健康保険や組合健保などから切り離して、後期高齢者だけを加入させた医療制度です。

保険料は、国の試算では一人月額六千二百円ぐらいで介護保険料とあわせて、月額一万円が年金から天引きされます。この制度は後期高齢者の医療給付費が増えれば保険料の値上げにつながりますので、保険料が安くなることはありません。現在、介護保険料の滞納者もあり、後期高齢者医療保険料が加算されたならさらに滞納者が増えます。

この制度では、保険料の滞納者は七十五歳以上であっても、被保険者証を取り上げ、短期保険証を発行され、一年以上の滞納者には、資格証明書が発行されることとなります。国民健康保険で資格証明書の発行を受けた被保険者の約半分が受

十万円、人口三百六十万人の横浜市と同じ負担で、極めて不平等です。中井町でも、横浜市でも、被保険者の係わり合いは同じです。

平等割をやめてすべての負担を被保険者割と人口割にすべきです。

保険料や減免の有無、財政方針、給付計画など、高齢者の生活にかかわる事項を決定する広域連合議会の議員定数は、二十名で広域連合に加わる三十五市町村から選出されますが、自治体一名以上の原則が無視され、初めから広域連合を構成する各市町村の代表による議会の構成を考慮せず、民主的ではありません。

低所得者のための七割・五割・二割減免があります。低所得者でも保険料を納められない人もいます。広域連合は独自財源を持たないため、一般財源の繰り入れによる保険料減免が困難になる心配もあります。

以上ことから、神奈川県後期高齢者医療広域連合規約に反対いたします。

賛成討論

小清水招男 議員

後期高齢者医療制度は、現行の老人保健法が、平成二十年四月一日から高齢者の医療の確保に関する法律に移行することに伴い、その運営主体となる、神奈川県後期高齢者医療広域連合を設立するにあたり、広域連合規約を制定するため、提案されたものです。

文教民生常任委員会の審査は既報のとおり、後期高齢者医療制度を理解しつつ後期高齢者医療広域連合規約の審査でした。

具体的には広域連合設立によるメリット、後期高齢者医療制度の仕組み、市町村への財政的影響、保険料、運営経費等についてです。

まず、広域連合設立によるメリットは、後期高齢者医療制度では、財政運営が都道府県ごとに全市町村が加入する広域連合として

いるため、個々の市町村で対応した場合と比較すると、職員人件費等を軽減することができ、事業運営経費を

員定数の適正配分を付帯決議として頂きたい。」との提案があったため、各委員に諮り、付帯決議が付された。

なお提案されています規約の(附則六)には、「広域連合は二十一年度において後期高齢者医療制度の実施の状況などを勘案し、別表二の一の表について検討を加え、必要あると認める時は、その結果に基づいて必要な処置を講ずるものとする。」となっております。

第十八条には「広域連合は、その運営に関する重要事項を審議する為に広域連合の条例で運営協議会を置くものとする」としております。

従いまして、今後、町執行者が関連市町村と共に努力することにより見直しを図れる可能性があるかと判断したものです。

以上ご説明したとおり、「神奈川県後期高齢者医療広域連合規約」について賛成討論といたします。

適切な措置を図ること、議

議案等審議の結果

件名	月日	結果	件名	月日	結果
第1回臨時議会 工事請負契約の締結について(平成18年度町道境幹線道路改良工事)	10月30日	原案可決(賛成全員)	足柄東部清掃組合規約の変更について	12月7日	原案可決(賛成多数)
第2回臨時議会 中井町長の期末手当の特例に関する条例	11月28日	原案可決(賛成全員)	足柄消防組合規約の変更について	12月7日	原案可決(賛成多数)
中井町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	11月28日	原案可決(賛成全員)	中井町長期継続契約を締結することができる契約を定める条例	12月12日	原案可決(賛成全員)
平成18年度中井町一般会計補正予算(第3号)	11月28日	原案可決(賛成多数)	中井町環境基本条例	12月12日	原案可決(賛成全員)
平成18年度中井町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	11月28日	原案可決(賛成全員)	平成18年度中井町一般会計補正予算(第4号)	12月12日	原案可決(賛成全員)
平成18年度中井町介護保険特別会計補正予算(第2号)	11月28日	原案可決(賛成全員)	平成18年度中井町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	12月12日	原案可決(賛成全員)
平成18年度中井町下水道事業特別会計補正予算(第2号)	11月28日	原案可決(賛成全員)	平成18年度中井町老人保健特別会計補正予算(第2号)	12月12日	原案可決(賛成全員)
平成18年度中井町下水道事業会計補正予算(第2号)	11月28日	原案可決(賛成全員)	平成18年度中井町介護保険特別会計補正予算(第3号)	12月12日	原案可決(賛成全員)
第4回定例会 二級河川藤沢川改修の早期整備の意見書提出を求める陳情	12月6日	経済建設常任委員会に付託	中井町助役の選任について	12月12日	同意(全員)
高齢者の確実な医療保障を求めることに関する陳情	12月6日	文教民生常任委員会に付託	経済建設常任委員会審査報告(平成18年陳情第3号)	12月12日	採択
「リハビリテーションの算定日数制限」中止の意見書提出を求める陳情	12月6日	文教民生常任委員会に付託	二級河川藤沢川の早期改修を求める意見書の提出について	12月12日	原案可決(賛成全員)
療養病床削減・廃止方針撤回の意見書を求める陳情	12月6日	文教民生常任委員会に付託	文教民生常任委員会審査報告(平成18年陳情第5号)	12月12日	趣旨採択
行政報告	12月6日		文教民生常任委員会審査報告(平成18年陳情第6号)	12月12日	趣旨採択
一般質問	12月6日~12月7日		議員・委員派遣の件について	12月12日	承認
中井町個人情報保護条例の一部を改正する条例	12月7日	原案可決(賛成全員)	議員・委員派遣結果報告について	12月12日	報告
中井町税条例の一部を改正する条例	12月7日	原案可決(賛成全員)	議会運営に関する事項	12月12日	議会運営委員会閉会中の継続審査
中井町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	12月7日	原案可決(賛成全員)	公共施設整備に関する調査、研究に関すること	12月12日	公共施設整備に関する特別委員会閉会中の継続審査
神奈川県後期高齢者医療広域連合規約について	12月7日	文教民生常任委員会に付託	議案第70号 神奈川県後期高齢者医療広域連合規約について、並びに平成18年陳情第4号 高齢者の確実な医療保障を求めることに関する陳情について	12月12日	文教民生常任委員会閉会中の継続審査
神奈川県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について	12月7日	原案可決(賛成多数)	第3回臨時議会 文教民生常任委員会審査報告(議案第70号 神奈川県後期高齢者医療広域連合規約について)	12月27日	原案可決(賛成多数)
足柄上衛生組合規約の変更について	12月7日	原案可決(賛成多数)			



古宮一広 議員



市川 博 議員



重田啓治 議員

表彰されました
 平成十八年十一月二十九日神奈川県庁にて、神奈川県地方自治功労者として次の議員が表彰されました。これは、地方公共団体の公選の職にあるもので永年(十五年)地方自治の振興に努力し功績が認められたものです。

表彰されました

町民の声

編集後記

近藤 熙一(北窪)
 「議会だより」は表紙の素晴らしい写真で思わず毎号手に取り読んでしまう様な出来ばえで、編集委員の努力が何える広報誌です。

「渴に臨みて井を穿つ」のどが渴いてから井戸を掘る。事態が差し迫った状態になつてから慌てて準備をしても、手遅れで間に合わないことをいう。ことが起こつてから慌てて対策を講ずるといふ意味ですが、北海道夕張市が昨年六月に財政破綻したことは、全国各地自治体の関係者に衝撃を与え、このような債務状況を議会としてチェック機能を果たしているのか。

「議会だより」は町民が町政を知る一番身近な情報源です。議員の原稿を尊重編集との事ですが、せっかく議会場で真摯な議論をしているのですから、議員の自己PRでなく、行政側の回答も詳細に載せてもらいたいものです。要は行政がどう考え実行するかが一番重要ですから、「議会だより」の、より一層の充実を望みます。

我が町は財政力指数は高いが、住みよい生活環境にしていくためにも、議会が一丸となつて町政を進めていくことが大切であることを、新たに痛感し、議員としての役割を果たしていく。

議会だより編集委員会

- 委員長 杉山 祐一
- 副委員長 加藤 義英
- 委員 岸野 照男
- 委員 加藤 正人
- 委員 小沢 長男

問い合わせ

議会事務局
 八一一三九〇五